

あこう



市議会だより

第172号



令和6年8月9日発行



2～7P

- ・定例会のあらまし・一般質問
- ・議案の議決結果・議員別賛否一覧
- ・報告案件 など

8P

- ・常任委員会等審査から

9P

- ・常任委員会行政視察報告・議員表彰 など

10P

- ・議会活動状況
- ・9月定例会・常任委員会の日程(案)
- ・編集後記 など



発行・赤穂市議会 編集・議会報編集委員会

赤穂市加屋81 TEL 0791-43-6876 FAX 0791-43-6893

ホームページ

赤穂市議会

検索

市政の課題 将来の展望を



ただ
質す

6月26日(10名)、27日(5名)の計15名が登壇し、市政の課題や将来展望に対する考え方について一般質問を行いました。

赤穂市民病院の 歳入確保について

釣 昭彦 議員



問 令和6年度に経営強化プランが発表され、令和21年度に黒字化を目指すとするが、市民は病院の存続を心配している。新型コロナ関連の補助金終了後、歳入が減少している今、駐車料金の徴収、院内薬局の復活及び過疎地域への送迎等、あらゆる施策で歳入確保をすべきと考えるがどうか。

その他の質問事項

- カスタマーハラスメント及びパワーハラスメント問題について
- 城西小学校から北側の市道自転車歩行者道浜田線について

小規模小中学校の 存続に向けた取組みについて

中 谷 行 夫 議員



問 ①授業時数特例校制度により探究学習の時間を増やし、楽しく豊かな体験を通して一人一人が個性を伸ばし、未来をより良く生きるための力を育てられる特色ある魅力的な学校づくりへの取組み、②小規模校への通学区域の自由化、③統廃合ありきではない小中一貫教育の検討をすべきではないか。

その他の質問事項

- ボランティア・ポイント制度の拡充について
- 赤穂高山墓園の利用促進を図る取組みについて
- 公共施設へのフリーWi-Fiの導入について

定例会のあらまし

令和6年6月(第2回)定例会を、6月10日から27日までの18日間にわたり開催しました。

この定例会において、報告案件、一般会計補正予算、事件決議等の議案が提案され、全ての議案について、承認、可決しました。

また、請願及び意見書それぞれ1件の審議を行い、どちらも全会一致で採択、可決となりました。

※QRコードより、議員ごとに一般質問の様子を動画にて閲覧できます。

答

収入確保は当病院の経営改善において最も重要な要件の1つであると考えており、医師等の確保による診療提供体制の充実、救急患者の積極的な受入れ及び地域医療機関との連携強化による紹介患者数の増加等に取り組み、収入の確保を図っていききたい。また、積極的な広報活動及び保健センターとの連携等、市民の健康増進のサポートを通じ地域に根差した病院として集患につなげていけるよう努めていく。



答

①すでに赤穂市の小規模校においては、各校の状況に応じた特色ある学校づくりが進められている。今後も各校の特色ある取組みにより魅力ある学校づくりを進めていく。②様々な課題を踏まえ、将来的には小規模特認校も視野に入れ、地域の要望と実状に応じた形で、今後も小さな学校が教育的効果を最大限に発揮できる取組みを進めていく。③各学校の運営協議会において他市町の取組み等について繰り返し協議した結果、現段階においては各小中学校の連携を強化し、現在の学校の在り方を維持していきたい。

「授業時数特例校」のイメージ





社会保障関係費等の 財源確保について

田 淵 和 彦 議員



問 市の人口減少は歳入減につながる。今後、公共施設等への投資的経費や扶助費など社会保障関係費等は増加するとされている。歳入が減る中で市長公約の学校給食費の完全無償化や他市が取り組んでいる高齢者のタクシーチケット支給など新たな社会保障関係事業等に必要とする財源をどう確保するのか。

その他の質問事項

- “赤穂義士のまち”として全国から注目を集める取組みを
- (公財) 赤穂市文化とみどり財団に業務委託する文化施設について

答

少子高齢化の進展により増加が見込まれる社会保障関係費や公共施設等の維持管理費等、多様化する財政需要に的確に対応し、持続可能な行財政運営を確立する必要があることから、令和5年2月に「第9次赤穂市行政改革大綱」を策定し、現実の歳入規模に見合った行財政構造へと見直しを図っている。今後も当該計画に基づき市税収納率の向上に努め、赤穂ふるさとづくり寄付制度の充実等、積極的に安定的な歳入の確保に努めるとともに既存の事務事業についても見直しを図るなど、必要な財源の確保に努めていく。



市街化調整区域における 企業誘致について

山野 崇 議員



問 農業振興地域へ編入ともなると、地権者の同意をもってしても企業用地としての可能性は絶たれてしまうが、企業用地として転用できる農地で農業振興地域へ編入しようとしている区域はあるのか、またその理由は。

答

現在、農業振興地域整備計画については、区域除外の予定はないが、ほ場整備事業にかかる上浜市地区と新田地区の農業振興地域及び農用地への編入を検討している。ほ場整備事業を実施するためには、農業振興地域への編入等が必要条件であり、地元地権者等からのほ場整備事業の実施要望により、地元・県等と協議を進めている。



生活環境の保全について

—大津地区の異臭苦情の状況、今後の対応は—

前 田 尚 志 議員



問 昨年来、大津地区で酪農事業者が乳牛の飼育を行っているが、①これまでに寄せられた異臭苦情の件数、②夜間や明け方に異臭を感じた人が多かったがその理由、③市としてこれまで取り組んだ対応状況は、④堆肥の処理を行っているがさらなる異臭の発生は起こらないのか、⑤市としての今後の対応について伺う。

その他の質問事項

- 小学校の外国語教育について

答

①令和5年5月から現在までに延べ20件の苦情や相談を受け付けている。②原因は明確ではなく天候や風向・風速の影響等があると考えている。③苦情等を受け付けた際に周辺状況の確認及び聞き取り、必要に応じて事業所の現地確認を行い、臭気対策の徹底を指導している。また定期的には大津地区周辺をパトロールし、臭気の状態を確認している。④当該事業者は2月に発酵攪拌機棟全体に消臭剤を上部から堆肥に直接噴霧する設備を増設し、3月に堆肥調整保管庫において、消臭効果のある炭やコーヒー粕の副資材を混合し、ブロアーにより空気乾燥することで臭気の低減を図っている。⑤大津地区周辺のパトロールを実施し臭気の状態把握、必要に応じて当該事業者への状況



確認を行い、適切に指導していく。



今年4月からの市内循環バス「ゆらのすけ」など 赤穂市の公共交通について

深町直也 議員



問

4月からのゆらのすけの新ルートである尾崎・御崎地区のルートの利用人員についての分析と、10月に200円に統一される方針の運賃の改定について、法の定めに従い決定するとした赤穂市地域公共交通活性化協議会運賃分科会についての第1回定例会の答弁について伺う。

その他の質問事項

- 福浦採石場の現状について
- 下水道使用料の改定について
- 給食費の一部無償化の拡大について

答

「ゆらのすけ」の4月・5月の利用者数は前年同月との比較では増加している。また、2か月間の運営状況により今年度の見通しを判断することはできないため、今後の利用者動向を注視していきたい。バス運賃の改定については、第1回定例会で答弁したとおり、道路運送法に基づき、地域公共交通活性化協議会に設置された運賃分科会において協議を行い、パブリックコメント等、必要な措置を講じた上で決定していく。



尾崎地区を走行する市内循環バス「ゆらのすけ」



公共交通について

井田佐登司 議員



問

4月から公共交通のルート新設及び変更により、各地域の皆さんが利用しやすく便利になったという声を伺っている。市民の移動手段を確保し、公共交通を維持していくためには利用者の拡大を図ることが重要であると考えている。そこで、公共交通の利用率向上のためのPRをどのように考えているのか伺う。

その他の質問事項

- バス利用者の乗り間違い対策について
- 妊婦の方への移動手段の補助について 外

答

現在市内を運行しているコミュニティバスを持続可能なものにしていくためには、さらに住民の皆様にご利用いただき、「乗って残す」意識を醸成することが必要であるため、各種団体等の集会などにおいて、バス利用を啓発、PRするとともに、3月にはゆらのすけのルート新設に伴い、バス車両を使った乗り方教室を開催している。今後、幼稚園においても乗り方教室を開催するなど、バスの利用について幅広く住民に啓発・PRを行っていく。



ニーズに応じた 乳幼児の預かり継続について

荒木友貴 議員



問

①3歳未満児の育休退園制度について西・中播磨の状況を調査したが、赤穂市だけが出生児の産休明けすぐに退所しなければならず、子育て世帯のニーズに寄り添えていない。育休退園制度の廃止もしくは育休取得後一定期間の利用継続措置を行えないか。②また、幼稚園の進級時の区域外就園についても柔軟に対応できないか。

その他の質問事項

- 子どもの権利を守る体制整備について
- 将来を見据えた公共施設等のマネジメントについて 外

答

①就学前の集団教育として適切な年齢は3歳児以上との認識により、既入所中の3歳児以上の児童には継続利用、0～2歳児の場合は退所いただいている。入所保留児童が発生しているため、より保育の必要性の高い方に利用いただくため取扱いの変更は困難である。②公立幼稚園の就園区域は小学校区に準じているが、3歳児保育については、例外として市内全域からの就園を可能としている。区域外就園については、個々の家庭の事情も考慮し許可を行っているが、校区ごとの保育所・幼稚園・小学校の連携強化に取り組み、小学校教育への円滑な接続を目指しているため、住所地の幼稚園へ入園することを基本としている。



播磨灘に面する赤穂港一帯の埋立地域の地震による液状化の対策について

前川 弘文 議員



問 播磨灘に面する赤穂港一帯の液状化のリスクが高い地域における上下水道管の耐震化として、すぐれた耐震性能が立証されたダクタイル鋳鉄管の導入と掘削を伴わず地盤改良するため維持管理コストが抑えられる工法等による下水道マンホールの浮上防止対策について、10数年前に検討するとされていたが、現在の状況と今後の計画はどうか。

その他の質問事項

- 大人の発達障害の支援について
- 大規模災害に備える携帯トイレ等の備蓄の推進について 外

答 水道管のうち、口径75ミリ以上については順次、耐震性能を有する「ダクタイル鋳鉄管」により整備を進めており、耐震化率は約15%、下水道管については耐震性能を有する「可とう継手」等により整備を進めており、耐震化率は約17%である。下水道マンホールの浮上防止対策については、緊急輸送路や処理場に直結する重要な幹線の管渠やマンホールについて耐震診断を実施し、液状化による浮上が懸念されるマンホールを把握しており、下水道管等の更新や耐震化と合わせて取り組んでいきたい。



生活困窮者等への食品等の継続的な支援体制について

南條 千鶴子 議員



問 物価高は生活困窮者の生活にさらに影響を与え深刻で切実な問題となっている。「フードバンク」等のボランティアが支援されているが困窮者は増え食品等は不足とのことである。困窮した子育て世帯にとって夏休みはさらに深刻となる。行政・福祉・企業・地域団体が連携し食品等の継続的支援体制（赤穂フードサポートネット）を構築すべきではないか。

その他の質問事項

- 気象防災アドバイザーの採用について
- 熱中症対策の推進について 外

答 兵庫県では令和4年度に「ひょうごフードサポートネット」を立ち上げ、参加団体間の意見交換や情報発信を行うとともに、サポーターを増やすことでさらなる生活困窮者等の支援体制の充実につながる活動をしており、本市もサポート推進機関として参画している。本市ではすでに「フードバンクあこう」が、赤穂市総合福祉会館を拠点として活動されており、引き続き、本市及び赤穂市社会福祉協議会がその活動を支援していくため、「赤穂フードサポートネット」を独自に立ち上げる考えはない。



有年駅周辺への公共施設誘致について

山田 昌弘 議員



問 有年地区の少子化・高齢化が進行中である。人口増加を目指し、有年駅周辺の環境整備が急務である。交通アクセスは良好だが利便性が低い。子育て世代や高齢者に必要な公共施設が不足している。公共施設の誘致が必要である。これにより、地域の利便性と生活の質が向上し、若い世代の定住促進につながる。市長の考えを伺う。

その他の質問事項

- いじめ及び不登校問題について
- 産業廃棄物最終処分場建設計画について 外

答 有年駅周辺地区では地域のにぎわいの創出と活性化を目指し、駅利用者の利便性・回遊性を向上させるため、駅北広場や総合案内所、駐車場などがすでに整備されている。現時点で新たな公共施設の整備計画はないが、令和4年12月に有年横尾地区に空家を活用したお試し暮らし住宅を開設し、保留地の販売を含め、有年地区への移住・定住に努めている。有年土地区画整理地内の今後の宅地化の状況も見ながら「有年駅周辺地区まちづくり協議会」とも連携し、必要に応じて検討していきたい。



企業立地等による雇用の確保、人口減少の改善について

家入時治 議員



問 ①近年の企業誘致件数及び引き合い件数は何件か。②企業立地の引き合いが増えている今、市長として、赤穂インターチェンジ周辺、新田地区の市街化調整区域の農地は、ほ場整備か、企業立地用地として土地利用を見直すか。今、判断を誤ると赤穂市の将来に禍根を残すことになると思うが市長の見解を伺う。

その他の質問事項

- 播州赤穂花火大会の開催を検討する考えについて
- 子育てを経済的に応援する施策の所得制限の撤廃について 外

答

①市外問い合わせ案件数は令和4年度以降で65案件、企業誘致に成功した案件数は1案件である。②新田農地西地区の農地については、以前よりはほ場整備事業の地元要望があり、アンケート等による地元の意向調査をしてきた。平成30年4月に地元負担を伴わない国の補助事業が創設されたことにより、関西福祉大学西側区域を対象とするほ場整備事業について地元から要望を受けている。ほ場整備事業化については、必要条件である農業振興地域への編入について地元、県等と協議を進めている。



ACP (アドバンス・ケア・プランニング) について

榊 悠太 議員



問 ACPは、人生の最終段階にどのような医療やケアを望むのかなど、あらかじめ家族等と話し合い、決めておく取り組みである。市民一人一人が人生の最期まで尊厳を保ち、自分らしく生きるためACPを推進するべきである。本市の取り組みはどうか。また市民への普及・啓発やACPシートの作成、配布が必要であると思うが見解を伺う。

その他の質問事項

- オーガニックビレッジ (有機農業の推進) について

答

切れ目のない在宅医療と介護のサービスが一体的に提供されるよう在宅医療と介護連携を図る地域包括ケアの取り組みをしている。平成29年度より高齢者を対象に、「終活」をテーマに年に1回、在宅医療・介護連携セミナーを開催し、ACPを啓発している。今年度は在宅医療・介護連携セミナーに加え、関係機関とともにACP普及啓発動画を作成する。また市ホームページでのACPの周知や動画配信を通じて市民へのさらなる普及・啓発に取り組んでいく。ACPシートの作成・配布については、先進地事例をもとに県や関係団体・機関と協力し積極的に取り組んでいく。



日本一安い水道料金維持のため老朽化対策が先送りされているのではないか

瓢 敏雄 議員



問 水道管が破裂するという事案が各地で起きている。管や施設の更新を急ぐ必要があるのではないか。布設後50年以上経つ老朽管の更新の進捗状況はどうか。更新には巨額な資金が必要となるが、計画どおり更新できるのか。水道管や施設も未来の子供たちからの借り物ではないか。先送りして未来が築けるのか。

その他の質問事項

- 赤穂市上下水道事業在り方検討委員会での使用料改定の協議は人口減少による減収分を埋めるにすぎないのではないかと 外

答

水道管の老朽化対策は、安全で良質な水道水を安定して供給するためにも重要であるため、「2031水道ビジョン」に基づき、経年劣化した水道管を順次更新している。更新率は約15%である。更新の対象となる布設後50年を経過した水道管は約60キロメートルあり、ポンプ等の水道施設についても必要に応じて更新を進めており、多額の費用が必要である。今後も水道管の老朽化対策について、水道事業全体の経営を考慮しながら計画的に取り組んでいく。





教育委員会における学校の働き方改革のための取組みについて

安田 哲 議員



問 子供たちにとって学校の先生は最も重要な教育環境であり、先生が生き生きと子供たちと接することができる環境づくり、教員の働き方改革が急務となっている。赤穂市の取組状況について、また取組みの内容及び成果、課題を積極的に市民に周知していくことに対する考えを伺う。

その他の質問事項

- PTAの在り方について
- 「赤穂市こども計画」の策定について
- 学校施設の環境改善について

答

学校現場における業務適正化については、教師が本来の業務に専念するために重要な課題であり、国・県の指示に従い適切に対応している。取組例として、今年度、中学校へ校務支援ソフトを導入、小中学校の欠席連絡を電子化するなど、多くの改善を行っている。また市民への周知については、各校のホームページや学校だよりを通じて、適宜通知している。教育委員会のホームページでも学校業務改善の取組みで市民への周知が必要なものについては、理解促進に向け掲載している。



6月（第2回）定例会提出議案に対する議員別賛否一覧表

賛成：○ 反対：× ※議員は議席順

議案等番号	件名	議決結果	西川浩司	山野崇	南條千鶴子	安田哲	井田登司	荒木友貴	深町直也	中谷行夫	榊悠太	釣昭彦	奥藤隆裕	前川弘文	前田尚志	瓢田敏雄	田淵和彦	家入時治	山田昌弘	土遠孝昌
報第7号	専決処分の報告について																			
専第3号	令和5年度赤穂市一般会計補正予算	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専第4号	令和5年度赤穂市職員退職手当管理特別会計補正予算																			
第72号議案	令和6年度赤穂市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第73号議案	令和6年度赤穂市病院事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第74号議案	赤穂市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第75号議案	赤穂市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第76号議案	兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第77号議案	高規格救急自動車及び高度救命処置用資器材の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願審議結果																				
第2号	少人数学級推進などの定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1復元をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書結果																				
第2号	少人数学級推進などの定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1復元をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長のため、表決には加わりません。

6月（第2回）定例会報告案件

報告番号	件名
報第8号	令和5年度赤穂市一般会計予算の繰越しについて
報第9号	令和5年度赤穂市水道事業会計予算の繰越しについて
報第10号	令和5年度赤穂市下水道事業会計予算の繰越しについて

●●●●● 常任委員会等審査から (主な質疑) ●●●●●

● 民生生活

6月17日に開催し、付託された第72号議案関係部分など5議案を慎重審査した結果、全会一致で原案通り可決すべきものとされました。

<予防接種事故障害年金について>

●問 給付に係る障がいの程度等による区分の有無について

●答 補正対象者の給付に係る区分はないが、手続として、まず市による予防接種被害調査委員会で医学的な見地からの調査を実施し、その後、国より疾病障害認定審査会に諮問をかけ、予防接種との因果関係の有無が判定され、認否の返事を受けることとなる。

<赤穂市病院事業会計補正予算について>

●問 職員給与の一部未支給分に係る今後の再発防止対策について

●答 初任給の算定時における医師免許取得年数による号給格付表及び関係規定の適用に係るチェックシートを用いて複数人で確認することにより、再発防止に努めている。

● 建設水道

今定例会において、建設水道委員会に付託された議案はありませんでした。

● 総務文教

6月19日に開催し、付託された第72号議案関係部分について慎重審査した結果、全会一致で原案通り可決すべきものとされました。

<税務証明コンビニ交付事業について>

●問 税務証明のコンビニ交付追加に伴う申請者の手続内容の変更について

●答 当該事業はコンビニエンスストアで所得証明書をマイナンバーカードを持参し申請、交付するものであるが、これまで税務証明はコンビニ交付を行っていないことから、変更ではなく新規で実施するものである。

<赤穂城跡整備事業について>

●問 赤穂城跡デジタル博物館（Webサイト）を構築する理由について

●答 当該事業は赤穂城の特徴を打ち出すことにより、観光客の増加や満足度の向上を図ることを目的としており、既存の赤穂城跡公式Webサイトは行事や利用情報等の案内を中心に掲載し、情報発信に特化した当該事業とすみ分けを行い運用していく。

● 請願の審査 (総務文教)

請願1件について慎重審査した結果、全会一致で採択すべきものとなりました。

<少人数学級推進などの定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1復元をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願について>

●全国的に少人数学級の推進や定数改善をすることで、学校の働き方改革にもつながる。また義務教育費国庫負担率を2分の1に復元をはかる要望も出されているため。

●これまで請願を提出してきたこともあり、小学校の学級編制標準が段階的に35人に引き下げられている。義務教育費国庫負担についても請願を提出していくことが重要と考える。



常任委員会行政視察報告

(ホームページにも詳しく掲載しています)

民生生活委員会 (7月2日～4日)

●滋賀県守山市 もりやまエコパーク環境センターについて

もりやまエコパーク環境センターは、建設・運営方法などに事業者選定委員の専門的知見をいかし、DBO方式で建設している。安定管理できるストーカ炉の採用、発電施設の整備(熱回収効率の向上)等を積極的に進めている。電力は施設内のほか、隣接した交流拠点施設、本庁舎等で活用されゼロカーボンの取組みに寄与している。

●京都府京都市 COCO・てらすについて

COCO・てらすは、地域リハビリテーション推進センター、こころの健康増進センター及び児童福祉センター3施設の複合施設として令和6年に移転設置された。医師、作業療法士、言語聴覚士など多様な専門家を配置し、市民相談・診療のほか、区役所や事業所に対する専門相談を行い、福祉のバックアップ機能を果たしている。

●大阪府和泉市 和泉市立総合医療センターについて

医師数が減少し二次救急機能も停止したため平成26年度に指定管理者制度へ移行し、平成30年度に和泉市立総合医療センターを開設して経営改革を行った。現在はがんや難病診療の連携拠点病院として指定も受け、順調な医師確保及び病床稼働率の増加も実現している。



COCO・てらすにて

総務文教委員会 (7月9日～11日)

●東京都練馬区 小学校における校務DXの取組みについて

3か年計画に基づきICT支援員による現場サポート、先進的な学校の取組みの横展開、校務のデジタル化など小学校等におけるICTを活用した教育内容の充実及び校務改善を推進している。視察した豊玉小学校では、ICT活用推進リーダーを中心に校務及び教育現場におけるICTの活用を学校全体で取り組んでいた。

●神奈川県大和市 文化芸術振興における公共施設(シリウス)の管理運営について

図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場等を併せもつ複合施設「シリウス」を2016年に開設。「市民の居心地の良い場所づくり」のコンセプトに、各施設、指定管理制度のもと専門的ノウハウを有する民間事業者が利用者ニーズに応じたサービスを提供し、あらゆる世代が集える市民の憩いの場となっている。

●東京都足立区 足立区デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画の推進について

「書かない・行かない」サービスを足立区のセールスポイントとして、8つの重点項目に基づき人材育成や行政手続のDXなどを推進している。オンライン申請が可能な手続数は469手続に上り、保育所入所申込みは75%がオンライン申請で行われている。



練馬区立豊玉小学校にて

議員表彰の伝達

全国市議会議長会から
土遠孝昌 議員に
評議員を務めた功績で感謝状

去る5月22日に開催されました第100回全国市議会議長会定期総会において、土遠孝昌議員が全国市議会議長会評議員を務められた功績により表彰されましたので、6月10日開催の本会議の冒頭に副議長から感謝状の伝達を行いました。



議会活動状況 (令和6年5月～7月)

5月／

- 10日・東京都足立区議会行政視察（来庁）
- 14日・第52回全国自治体病院経営都市議会協議会定期総会（東京都）
- 15日・埼玉県三郷市議会行政視察（来庁）
・西播磨市町議長会国会議員要望会・意見交換会（東京都）
- 18日・自治功労者のつどい
- 22日・第100回全国市議会議長会定期総会（東京）
- 23日・第128回市議会議員共済会代議員会（東京）
- 31日・※「赤穂市民の会」理事会

6月／

- 3日・議会運営委員会
・会派代表者会
- 10日・本会議[第2回定例会開会]
（報告・議案説明等）
- 14日・本会議（議案質疑等）
- 17日・民生生活委員会
・民生生活委員会協議会
- 18日・建設水道委員会協議会
- 19日・総務文教委員会
・総務文教委員会協議会
・総務文教委員会・建設水道委員会合同協議会
・会派代表者会
・議会運営委員会
- 26日・本会議（一般質問10名）
- 27日・本会議（一般質問5名・議案表決等）
[第2回定例会閉会]
・議会報編集委員会

7月／

- 2日・民生生活委員会行政視察
（守山市、京都市、和泉市～4日）
- 9日・総務文教委員会行政視察
（練馬区、大和市、足立区～11日）
- 12日・議会報編集委員会
- 16日・建設水道委員会行政視察
（佐賀市、鳥栖市、荒尾市～18日）
- 18日・播但市議会議長会正副議長研修会
（熊本市～19日）
- 23日・市民病院経営改善調査特別委員会
・議会報編集委員会
- 24日・第275回兵庫県市議会議長会総会（加東市）
- 29日・議会運営委員会行政視察
（山陽小野田市、古賀市、高梁市～31日）

※「赤穂市民の会」＝産業廃棄物最終処分場建設反対
赤穂市民の会

☆9月定例会・常任委員会の日程(案)☆

日	月	火	水	木	金	土
9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7
		本会議 (1日目)			本会議 (2日目)	
9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14
	民生 生活 委員会	建設 水道 委員会	総務 文教 委員会			
9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20	9/21
	(敬老の日)			本会議 (3日目) 一般質問	本会議 (4日目) 一般質問	
9/22	9/23	9/24	9/25	9/26	9/27	9/28
(秋分の日)	(振替休日)	本会議 (予備日)				

※いずれも午前9時30分から開催予定です。

※委員会は原則公開で、開会後の委員会室の出入りは休憩中を原則としています。



編集後記

※残暑お見舞い申し上げます。

毎日暑い日が続きますが、暑さを避け、こまめな水分補給等で熱中症にならないように心掛けましょう。

※今月号は6月（第2回）定例会の内容を中心にお知らせしました。

※表紙の写真は、西播磨地区消防操法大会出場
激励会（第6分団）です。